

このまちの100年

「芝」

東京の中心部に位置する芝エリア。明治から戦前期にかけては企業の創業、大学の創設など、産業・学問の拠点ともなりました。戦後は、東京を代表するビジネス街となり、日本の高度経済成長とともに発展しました。一方で、歴史ある寺社や公園・庭園も多く残されており、この地が歩んできた歴史を感じることもできます。



大正期

慶應義塾は大正9年、大学令により日本初の私立総合大学となった。写真は、大正期の図書館



大正期

回遊式泉水庭園の典型とも言える旧芝離宮恩賜庭園



大正期

浜松町駅は潮干狩りや釣り舟などの行楽客も多かった



昭和戦前期

料亭の芝浦雅叙園。大正期、芝浜の花街は埋立地へ移転。多くの人でにぎわった



昭和戦前期

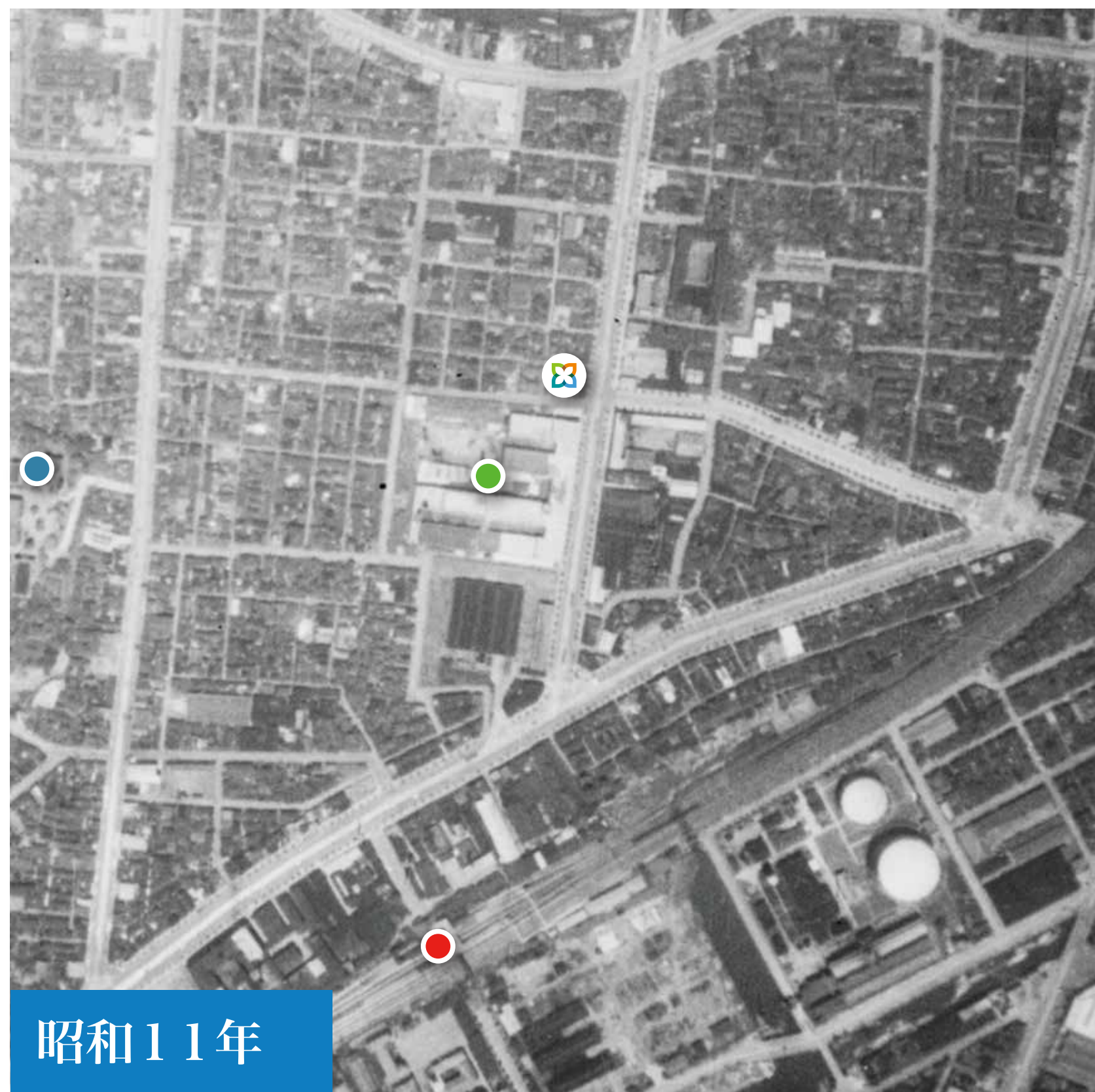
豊かな漁場だった芝浦。昭和16年に国際貿易港・東京港が開港した



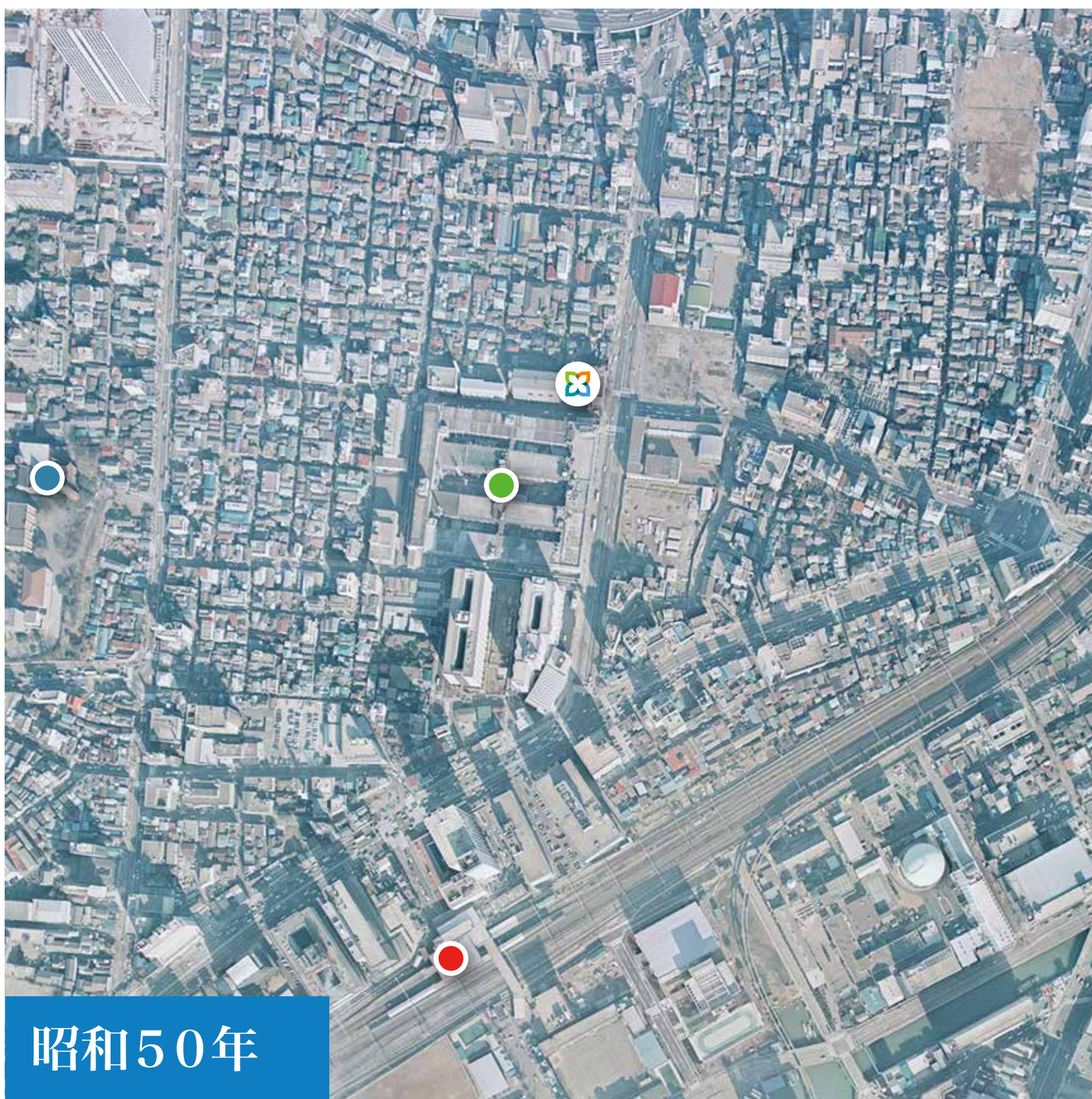
昭和24年

昭和24年開業の東京スポーツセンターは東洋一の規模を誇った

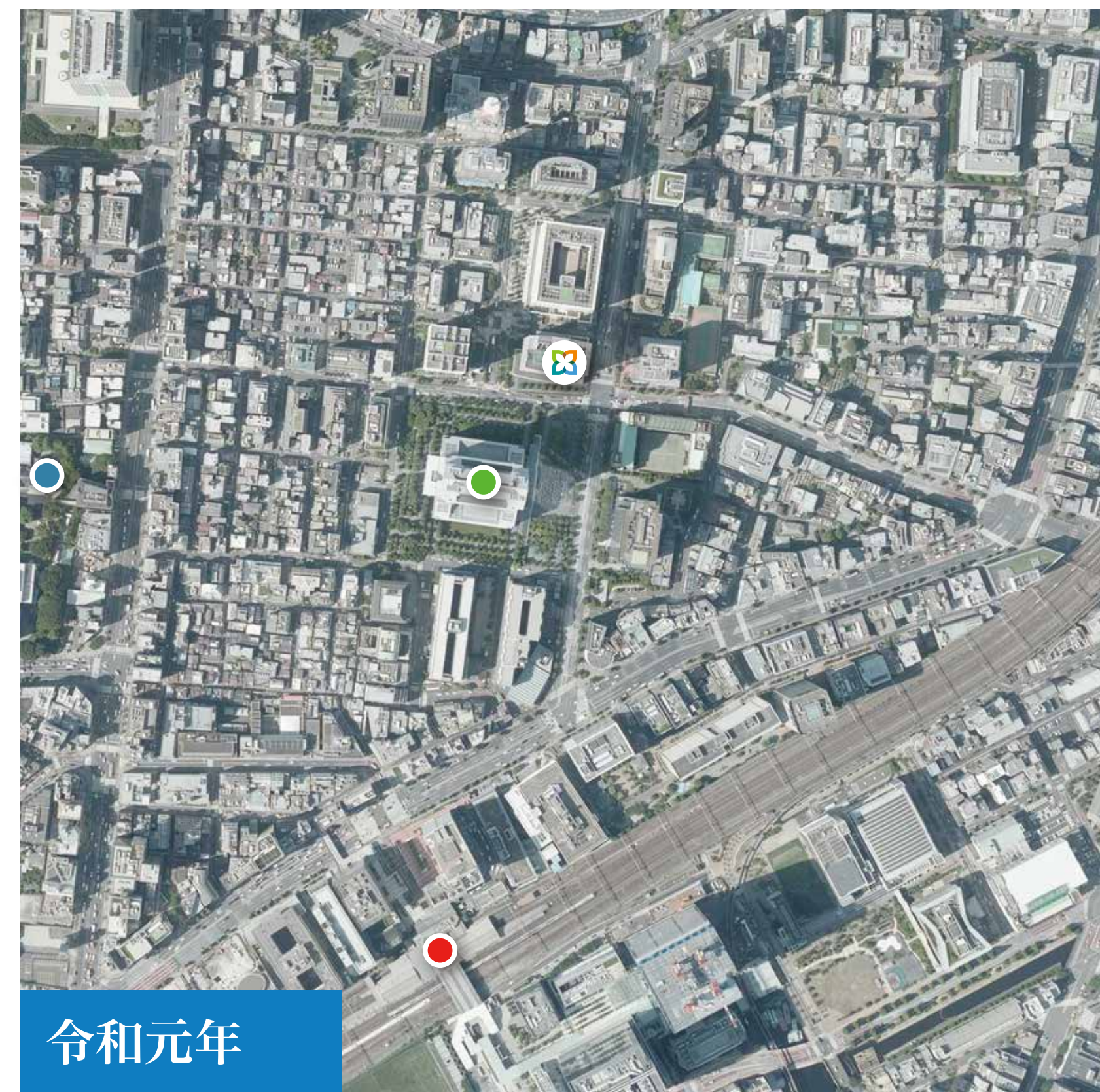
上空からみた芝エリア



昭和11年



昭和50年



令和元年

📍：現在地
●：慶應義塾大学 ●：日本電気 ●：田町駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ